

平成24年第2回定例会  
健康福祉病院常任委員会

説 明 資 料

頁数

《所管事項説明》

- 1 四日市市における児童虐待死亡事例について . . . . . 1

平成24年11月2日

健 康 福 祉 部

## 【所管事項説明】

### 1 四日市市における児童虐待死亡事例について

三重県では、平成22年4月の鈴鹿市で発生した児童虐待重篤事例の検証を踏まえ、これまで児童相談所の体制や市町との連携の強化、及び市町の児童相談体制強化の支援に取り組んできました。

しかしながら、本年8月に桑名市で、児童相談所が関わりながら母親の虐待により乳児が死亡する事例が発生したことから、8月30日に三重県児童虐待死亡事例検証委員会（以下「検証委員会」という。）を開催し、一時外泊の許可や関係機関との連携のあり方等について検証を行っているところです。

そうした中、今回、四日市市において乳児（生後10か月の女児）が死亡する事例が発生しました。本事例についても、速やかに検証委員会での検証を開始することとしていますが、本児及びその家族への児童相談所の関わりについては、以下のとおりです。

#### 1 事例の概要

##### (1) 家族構成

父（29歳） 母（24歳） 兄（2歳） 本児の4人家族

居住地：四日市市

##### (2) 児童相談所との関わり

平成24年4月30日に愛知県の大型商業施設内での虐待を発見した方から愛知県西警察署に通報があり、車のナンバーから四日市市在住であることがわかったことから、四日市南警察署を通じ、5月1日に北勢児童相談所が虐待通告を受けました。

5月1日に虐待通告を受けて、四日市市と情報共有を図り、翌5月2日に四日市南警察署とともに家庭訪問を行い、本児の安全確認を行いました。その際、母親が4月30日の行為を暴力と認めたことから、虐待と判断し、二度とそうした行為を繰り返さないよう父母に対し指導しました。

また、その際、本児にあざや傷跡は発見できなかったことから、「家庭訪問による見守りを行っていく」との方針を取りました。

6月14日、近所から泣き声がする、との通告を受けて家庭訪問し、父親と面談しました。母親は寝ているとのことでした。

8月29日は、午前及び午後に家庭訪問しましたが不在でした。

9月7日、父母及び本児と面談したところ、来月に10か月健診を受けさせる、とのことで、特に問題はないと判断し、また訪問する旨伝えました。

こうして見守りを継続していた中、10月9日に四日市南警察署から、「10月6日に本児が死亡した」旨の連絡が入り、その後の捜査により、10月22日夜、母親が傷害致死の疑いで逮捕されました。

【所管事項説明】

2 今後の対応

検証委員会による検証を速やかに開始し、事実確認、児童相談所の対応にかかる検証を行い、再発防止策について検討していきます。

また、今回の事例を受けて、各児童相談所において、現在所管している乳幼児の児童虐待相談ケースの精査や対応について点検を行っています。

さらに、県として児童相談体制の強化を図るため、死亡事例の検証の状況も踏まえ、介入型支援や法的対応力向上のための組織の新設や市町支援のための組織の充実を図っていきます。